

協会について

私たちは、精神保健福祉の領域で働くソーシャルワーカー専門職の職能団体として、様々な活動を展開しています。

協会の設置目的（規約第3条）

本会は精神医学ソーシャルワークの価値、知識及び技術を共有する職能団体として、会員の福祉の向上をはかるとともに、職業倫理の向上、専門的教育の向上及び学術研究につとめ、専門的知識と技術をもって精神障害者の社会的復権と福祉の推進及び県民の健康福祉に寄与することを目的とする。

協会の事業概要（規約第4条）

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1.会員の福祉向上に関する事業
- 2.精神保健福祉士の資質の向上及び精神保健福祉士の育成に関する事業
- 3.精神保健福祉の正しい知識と理解の促進に関する事業
- 4.精神保健福祉の企画立案及び調査に関する事業
- 5.県民の精神保健福祉の向上に寄与する事業
- 6.主務官庁及び関係団体との連絡調整に関する事業
- 7.その他前条の目的の達成のために必要な事業



青森県精神保健福祉士協会

入会のご案内

よりよい精神保健福祉の実現のために！

青森県精神保健福祉士協会

〒036-8151 青森県弘前市大字北園一丁目6-2

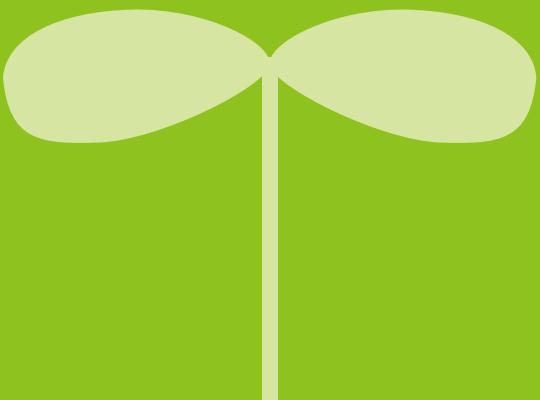
一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院 医療福祉相談室内

T E L : 0172-34-7111

F A X : 0172-34-7112

U R L : <http://aomori-psw.com/>

E-mail : aomorioffice@aomori-psw.com



～信頼される精神保健福祉士をめざして～

ごあいさつ

～私たち仲間と一緒に精神保健福祉活動を実践しましょう～

私たち精神保健福祉士は、精神障害者の社会的復権・権利擁護と福祉のための専門的・社会的活動を行う専門職として日々活動しています。また、広く地域の精神保健保持のために、医療、保健、福祉にまたがる領域で専門的な活動をしています。このような活動が認知され信頼されていくためには、専門職として研鑽の機会を多く持ち、質を高めていくこと仲間との情報交換・ネットワークを構築し、つながりと連携を強固にしていくこと関係団体や関係機関と連携・協力を図ること社会の要請や期待に応え、社会的発信力を高めていくことが求められています。

青森県精神保健福祉士協会では、1999年に設立され「県内の精神保健福祉士が、つながり、資質の向上を目指し、実戦力を高める」ことをかけ、この4つの活動を会員相互の協力と連携により行っています。具体的には「多くの仲間との情報交換・ネットワークづくり」「県内の精神保健福祉士が、つながり、資質の向上を目指し、実戦力を高める」「県内の精神保健福祉士の知識・技術・価値について研鑽の機会を提供する」活動を実施しています。加えて、精神保健福祉士としての声を施策に反映するためには多くの仲間がまとまり発信力を高めていくことが必要です。ぜひ、よりよい精神保健福祉の実現のために、一緒に活動しましょう！そして、ともに信頼される精神保健福祉士を目指しましょう！

青森県精神保健福祉士協会はみなさんの精神保健福祉士としての活動をサポートします。

20190903 文責：藤林正雄



ご入会のお手続きについて

■入会にあたって

原則、精神保健福祉士国家資格に合格された方で、青森県内に住所のある方又は青森県内に勤務されている方が対象です。

■入会申し込み

入会ご希望の方は、所定の用紙に必要事項をご記入の上、事務局へ郵送、FAX又は電子メールによりご提出ください。

■会費 ※入会初年度は会費無料です。

・正会員 5,000円 / 準会員 3,000円

※詳しくは、ホームページ <http://aomori-psw.com/> をご覧ください。

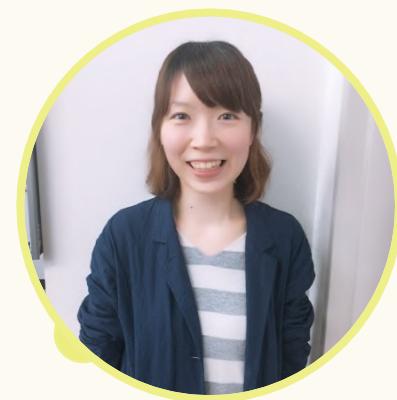
会員からのメッセージ！



ネットワークが広がります

若手を対象にした研修(協会員であれば参加費無料)も開催されており、ネットワークを早期に構築して自分の業務に活かすことが出来ます。

定期的に広報が発信され、仲間の活動を知る機会も多く、モチベーションに繋がります。



協会に入会してよかったです

PSW1年目の方も10年目の方も気軽に参加することができる研修が各地区ごとに開催されており、自分の質の向上に繋がっています。

普段悩んでいることの共有、解決に向けたアドバイスなど「一人じゃない！」と実感することが出来る協会です。

青森県立つくしが丘病院
医療連携室
川崎 佑樹 4年目

医療法人芙蓉会
芙蓉会病院 地域医療連携室
斎藤 徳子 10年目

活動の様子



ソーシャルワーカー
ソーシャルワーカーとはどんな仕事をする人なのか？どこで働いているのか？資格は？給与は？求人は？やりがいは？など様々な視点から、ソーシャルワーカーを身近に感じてもらうことを目的に活動しました。



WRAP体験クラス

自分が元気になるため、元気でいるために、何をすればよいのか。改めて振り返ってみて、いろんな方法で自分を保つたり元気づけたりしていたことに気付きました。話し合することで、そこから気づくこともたくさんありました。